

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第 7 回中央地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央 6 地区まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 4 9 (直通)		
開催日時	令和 4 年 2 月 1 5 日 (火)		
開催場所			
出席者	委 員	2 2 人 (別紙のとおり)	
	その他		
	事務局		
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面開催のため		
会議次第	<p>1 議 題</p> <p>(1) 地区防災計画の修正について</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 令和 3 年度まちづくり会議実績報告及び令和 4 年度まちづくり会議 (案)</p> <p>(2) 令和 4 年度の公募委員の募集について</p> <p>(3) 令和 4 年度の各団体からの委員推薦について</p> <p>(4) 報告事項</p> <p>(5) まちづくりを考える懇談会アンケートの提出について</p> <p>(6) その他</p>		

議 事 の 要 旨

(審議を書面で行った理由)

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中で、委員が一堂に会して会議を開催することでの感染リスクを防止するため、書面により議題等について委員の意見を求め、回答を得る方法で会議の開催に代えることとした。

主な内容は、次のとおり。

1 議 題

(1) 地区防災計画の修正について

中央地区防災計画について、中央地区防災計画検討部会での検討が終了し修正素案が完成したため、素案の内容についてまちづくり会議に意見の提出を求めた。

〈主な意見・質問〉

- 防災計画及びそれに基づく組織は、実によく設定されていると思う。しかし、この計画の内容や組織の存在が地域の方々にどれだけ周知されているか疑問だ。地区との連絡体制や協力体制の確保のため、どのような活動が具体的に実施されているか（誰が・いつ・どのように）が見えない。（非自治会員への対応含む）
- 地区居住者等の役割も色々と記されているが、旗振り役は誰になるのか。組織すらない地区においては、この役割は単なる「かけ声」になるのではないか。また、地区居住者と共同住宅管理者との交流の機会が実施され、情報が共有される場・機会を設けているか。
- 災害時要援護者に係る記載が多くみられるが、個人情報保護の現状では、支援体制や具体的行動基盤が薄れていると感じる。このこと自体、ガイドラインはあっても機能するか否か不安である。
- 「自治会等を母体とした単位自主防災組織」という表現について、いまや自治会未加入者が半数以上のため、未加入者が仲間外れの印象を持った。
- 単位自主防災組織が担う共同住宅管理者及び賃貸住宅経営者との連携について、必ずしも管理者等が地区内の当該住宅に居住していない課題はある。

〈結果〉

修正素案自体に対する修正の意見はなく、素案のとおり承認された。今後、市に対して修正提案を行っていく。

2 事務連絡

- (1) 令和3年度まちづくり会議実績報告及び令和4年度まちづくり会議計画（案）について（周知）

令和3年度まちづくり会議の実績報告及び令和4年度まちづくり会議の年間スケジュール（案）を周知した。

- (2) 令和4年度の公募委員の募集について（周知）

令和4年度の公募委員について、令和4年3月1日（火）～3月31日（木）の期間で募集する旨を周知した。

- (3) 令和4年度の各団体からの委員推薦について（依頼）

令和4年度まちづくり会議への各団体からの推薦依頼を行った（令和4年4月15日（金）㍻切）。なお、民生委員児童委員協議会については、推薦人数をこれまでの2名から1名に変更する旨も合わせて周知した。

- (4) 報告事項（周知）

令和3年度まちづくり会議にて議論した課題について、下記に2点を報告した。

- ① 地域活性化事業交付金申請事業「富士見小の校庭で遊ぼう！」について、令和4年3月12日（土）の事業実施を予定していたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大に鑑み、事業実施を延期することとした。
- ② 西門商店街前のごみ・資源集積場所の環境改善について、第6回まちづくり会議でのグループワークの結果を受けて、今後は地元住民等とも調整の上、引き続き対応・検討を行っていくこととした。

- (5) まちづくりを考える懇談会アンケートの提出について（依頼）

委員全体に標記アンケートの提出を依頼し、役員及び事務局で取りまとめの上、担当課である市民協働推進課に提出することとした。

- (6) その他

今回の議題内容や次年度に取り組みたい内容等、自由意見として伺った。

〈主な意見〉

○まちづくり会議の公募委員をもっと違った方に入ってもらえるように工夫した方がよい（大学生や20代、30代など）。また、地域の大学でまちづくりを専門にしている教授など。

○コロナ禍で各種団体（自治会、老人会、こども会等）の活動が限られている。現

状で何が出来るか、地区連の指導力を望む（他地区連の活動等の事例）。

○with コロナの対応の仕方に悩んでいる。

○まちづくり会議の構成メンバーがほぼ男性となっており、多様な意見を集約するためにも構成比を検討すべきではないか。構成員に女性割合向上の必要性を感じているならば、委員選出についてさらに積極的な方策が必要と考える。

○新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点と事業継続の大切さから、オンラインによる会議の開催等を検討されてはいかがか。ハイブリッド（集合型参加とZoom等でのオンライン参加）での会議ができれば、顔を合わせての開催が行えし、感染症予防の観点からも有効かと思う。主催者側でどのくらいの設備が用意できるか、参加者の理解や操作が付いていけるかなど課題もあるが、今後、今回のコロナの影響が失われる状況となっても、一堂に会さなくても会議ができるシステムの構築ができれば、有事の際（今後の新たな感染症や災害時など）にも有効な活動ができると思う。

○今回の書面会議は、なかなか良い方法と思う。事務方の負担は増えるが、次年度では書面会議について、年初に定義して取り組んだら良いと思う。コロナ禍は、まだ沈静化しないとの前提での案である。

○2022年2月20日に中央区役所主催で「宇宙へ飛び出せ！中央区こどもカレッジ」が始まった。同事業開催の動機、経緯は、2015年度中央地区まちづくり会議において、地域活性化事業交付金として中央地区の魅力づくり『中央地区「子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」』が提案了承され、その後5年間事業を継続し、この実績から、その開催趣旨や内容、意義、価値が評価され、中央区全体の子どもたちへ展開されるに至ったものである。なお、一方で、2022年度以降は、『中央地区「子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」』を中央地区自立事業として継続開催することが決定した。

以 上

令和3年度 中央地区まちづくり会議委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考
1	牛尾 良一	中央地区自治会連合会	会 長
2	中川 清一	中央地区自治会連合会	
3	徳田 文夫	中央地区社会福祉協議会	副会長
4	根岸 泰子	中央地区民生委員児童委員協議会	
5	八木 憲哉	中央地区民生委員児童委員協議会	
6	熊沢 憲一	中央地区老人クラブ連合会	
7	岡野 博	中央地区青少年健全育成協議会	
8	松田 正則	中央地区健康づくり普及員協議会	
9	東使 敏二	中央地区防犯協会	
10	増田 勝也	交通安全協会	
11	松本 勇作	中央小学校 PTA	
12	梅林 巖	弥栄小学校 PTA	
13	佐藤 匠	富士見小学校 PTA	
14	岡本 和茂	中央公民館	副会長
15	浦上 裕史	中央地区内商店街	
16	澤畔 正裕	中央高齢者支援センター	
17	秋葉 秀二	公募委員	
18	井之上 久	公募委員	
19	倉澤 良明	公募委員	
20	小澤 隆宏	公募委員	
21	鳥海 千秋	公募委員	
22	中里 良治	公募委員	